Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-SSRI-03
Project	**Public procurement of innovation for security** HORIZON-CL3-2026-01-SSRI-03
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下の期待される成果の**一部またはすべて**に寄与することが期待される： ● 過去の商用化前調達（PCP）活動に対するラストマイル支援； ● 新たな脅威に対処するための革新的なセキュリティソリューションの開発および導入。これには、新たな量子脅威に対抗するためのポスト量子暗号技術の活用や、公共の治安サービスの有効性および効率性の向上が含まれる。 ● パイロットプロジェクトの実施や実環境でのテストを通じて、拡張性を確保し、革新的なセキュリティ技術の発展に貢献する。 スコープ： この「革新的なソリューションの公共調達（PPI）」イニシアチブは、革新的な市民安全ソリューションの導入を促進することを目的としている。ここでは、小規模で部分的に実証済みであり、少量ながらほぼ入手可能、あるいはすでに入手可能であるものの、まだ広く普及しておらず、大規模な生産も行われていないソリューションに焦点を当てている。これらのソリューションは、明確な市場の可能性を示しており、調達者、その市場セグメント、または EU 域内市場にとって新規のものであり、かつ EU 加盟国および／または関連国の調達者にとって関連性のあるものでなければならない。 この PPI は、市民の安全に関する重大な課題に対処でき、かつ市場投入準備基準を満たす革新的なソリューションを特に対象とする。ソリューションは、持続可能性（運用面および環境面の双方）、相互運用性、適応性に関する要件を満たし、かつ商業的に実現可能であるべきである。ただし、まだ大量生産されていない、あるいは市場投入可能な品質や価格水準に達していないといった、残存する市場リスクを抱えている場合でも構わない。 この取り組みでは、すでに一定の成果を上げているものの、大衆市場向けの価格・品質基準を満たすためには、規模の拡大、改良、あるいは新たな環境への導入が必要なソリューションに焦点を当てる。これは、欧州全域における市民の安全の向上に不可欠なイノベーションの早期導入を促進するという、「ホライズン・ヨーロッパ」の目標に沿ったものである[1]。 「ホライズン・ヨーロッパ」作業計画の一般付属書 H の要件に従い、本事業では、潜在的な入札者やエンドユーザーとの公開市場協議を実施し、認識されている調達ニーズと現在の業界動向との間のギャップを特定する。これらの協議から得られたフィードバックは、PPI の入札仕様書の策定に反映され、PPI において、完全に成熟した技術や大衆市場向けの技術の調達ではなく、革新的なソリューションの早期導入が重視されるようにする。ソリューションの市場投入準備状況は、適合性試験、認証、または品質ラベルを通じて確認することができる。また、この取り組みでは、単に最低価格だけでなく「コストパフォーマンスの良さ」に基づいた評価基準を策定し、イノベーションが技術的な性能と長期的な価値をもたらす可能性の両面から評価されるようにする。 PPI の契約公告は EU 全域で公表され、提案は客観的な基準に基づいて評価されるため、選定プロセスの透明性と公平性が確保される。機能的・性能ベースの仕様書を用いて、解決すべき課題や問題を定義し、具体的な解決策を規定するのではなく、調達においては利益相反を回避する。研究成果の公正かつ広範な活用を促進するという目的に沿い、知的財産権（IPR）の帰属については、PPI の入札公告において明確に規定される。 公開市場に関する協議および入札公告の作成および公表の手順については、一般付属書 H に記載されている。 革新的な技術の早期導入を促進することで、この PPI イニシアチブは、欧州の市民安全分野が

	新たな脅威に対処できるようにすると同時に、技術的主権と市場革新という EU のより広範な目標の達成にも寄与することになる。これにより、公的機関は、刻々と変化するリスクや脅威への対応において、常に最前線に立ち続けることができるようになる。また、この取り組みはイノベーションを促進し、競争を活性化させ、初期の構想から市場投入に至るまでの時間を大幅に短縮することにもつながる。 最後に、提案書には、「セキュリティ研究・イノベーション拠点の強化」の「はじめに」で示された、該当するすべての考慮事項が盛り込まれることが求められる。 [1] 詳細については、『ホライズン・ヨーロッパ』作業計画の一般付属書 H「PCP/PPI を伴う措置に関する特定条件」を参照のこと。